


令和4年3月25日発行

 社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉442-1
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」

東茨城郡茨城町桜の郷231-7
TEL (029) 292-3900(代)

さわらび

第76号



ある日の事務室（桜の郷 元気）



泰仁会ホームページ



やさとブログ



こぎつねの郷ブログ

デイサービス営業

デイサービスやさとは10月より年始を除き
日曜日でも利用できるようになりました！
皆様のご利用をお待ちしております。

◇ 目 次 ◇

ひきよせる……………2	特養やさと……………6
「コロナに負けない」……………3	デイサービスやさと……………6
「元気に営業」……………3	グループホームさわらび……………7
デイサービス 桜の郷元気	国府あおい……………7
ひたちの長岡	令和3年度 やさとEPA
定員が30名になりました……………4	介護福祉士候補者紹介……………8
気持ちを新たに……………5	ワクチン接種について……………8
こぎつねの郷より……………5	編集後記……………8

ひろよせる



元氣 郷の桜
長直 山 永
施設 人

ある昼下がりに施設内を歩いておりました。一月下旬に、新型コロナウイルスを施設内で発生させてしまった時には、多くの皆さまにご心配をおかけしましたが、一緒に乗り切ってきた職員を労い励ましながら、また予防対策の確認等しながら歩いていると、ふとあるユニットのリビングで足が止まりました。最近、認知症の進行によってコミュニケーションを取りづらくなったご利用者が、リビングのテレビ画面をじっと見つめていました。画面はウクライナの街並みがロシア軍からの砲撃を受け、建物が崩壊している様子を映しており、砲弾の音までもが生々しく伝わってきます。彼女は何を思い、どんな感情でテレビを観ていたのでしょうか。

か。私は彼女の後ろにそっと立ち、きつとウクライナにも高齢者施設があり、そして多くの要介護高齢者だっているはずと思いつながら、彼女に対して単なる施設の入居者という捉え方ではなく、自分の肉親に近い感情を抱きました。太平洋戦争、そして近年では東日本大震災、今般の世界規模の感染症等と、まさに「激動の時代」を生きた・生きぬいた方々が暮らす高齢者施設の管理者である自分、ご利用者を「守る」という真の意味に初めて触れたような気がしてなりません。新型コロナウイルスが施設内で発生してしまった時には、その渦中においてあらためて気づかされることも数多くありました。平時より我々、法人や事業所は働く職員も「守る」ということを考えて運営をしておりますが、実際に感染症と闘う職員たちを目の当たりにした時、彼ら・彼女らを不安のある中で、家庭より送り出してくれているご家族の姿が脳裏を過りました。もしも、私がこのような仕事ではなく、逆に家族が介護施設に勤務していたら、コロナ禍で働きに出る家族を止めていたかもしれません。恥ずかしながら私はこの時に、桜の郷元気に勤務

してくれている職員のご家族にも日頃より支えられながら事業運営が成り立っていることを、身を持って知らされました。感染区域で頑張った職員たちは、ご主人も介護施設で働いており、遠方より保育園に子供を預けながら来てくれる職員・同居するご家族に基礎疾患がある方と暮らす職員、そして自分自身も大病を抱えているのに、感染区域で勤務を続けたいと申し出る職員等々、胸が打たれる毎日でした。課長職を始め各部署の責任者たちも私を支えてくれ、11年前の「東日本大震災」の時に、電気や水の止まった状態の中、課長職たちと約一週間施設に泊まり込み寝食を共にし、ご利用者を守ってきたことも思い出されました。その際にも震災の中、一家の大黒柱や主婦でもある課長職のみなさんのご家族は、状況を理解されて送り出してくださった事を今、あらためて11年の時間が経って思い起こす自分は、これらの運営の中で、何を持って恩返しをしなければならぬのかを考えるようになりました。もう間もなく新年度を迎えます。理事会・評議員会に諮る事業計画書(案)には、桜の郷元氣基本方針として二つのキーワード

ドを掲げました。一つは社会福祉法人泰仁会としての「経営理念」を日頃の運営の中でしっかりと浸透させていく事、もう一つは「感謝」という言葉をキーワードにしました。働く職員のみなさんへは、同僚・仲間への感謝をしつかり言葉として伝えてもらい、チームワークを更に高めることが目的です。私はご利用者・ご家族、そして職員のみなさんへ、いつもは締めくくりですが、これからは職員のみなさんを各家庭でしっかりと「支えている」ご家族へも深い感謝の気持ちをしつかりと伝えていきたいと考えています。そして新しい年度は「施設がまた一歩大きく踏み出した」と一人ひとりの職員が実感できるように「旗」を振り続けます。子供の頃の運動会で「綱引き」をして勝った瞬間には、綱を踏ん張って引いている全員が、綱が数センチでも自分たちに引き寄せられて「勝った瞬間」を確実に実感できたように。また「利用者体験」を活かし、今度は職員どうしで「職種間体験」(介護職員が事務職を体験・看護職員が栄養士業務を体験等々)を行い、多職種の理解を深めたいと思っています。

「コロナに負けない」

感染症対策委員会
谷 伸一郎

長きにわたりコロナウイルスと向き合う日々ですが、いつあの頃のごく当たり前な日常が戻ってくるのか、どうしても考えてしまうのは私だけでしょうか。そんな日常とは違い、テレビや新聞では新しい変異株の脅威や福祉施設のクラスターなど気が抜けない情報が飛び交っています。

私たち福祉施設での感染症対策の取り組みとしては、毎月感染症対策委員会を開催し、予防着の着脱や感染者発生時の訓練など重ねています。二月には三回目のコロナワクチン接種を看護師が中心となり入居者のみなさまと職員の接種が完了しました。その他感染予防の基本として出勤時のうがい手洗い、館内消毒、こまめな換気、職員の同居家族の協力も得ながら体調管理を徹底しています。そこまでやっていれば大丈夫とどこか自分自身の中で油断があったのかもかもしれません。一月に施設内で初の感染者が確認され、初めてのウイルスとの闘いに戸惑いと恐怖を感じました。感染症対策委員長として「感

染者が出て絶対には拡大させない。入居者の命を守る」と強い気持ちを持ち、職員一丸となって対応した結果、感染拡大することなく二月三日をもって一定の収束を迎えることができました。そこには法人本部からの応援や感染隔離スペースを担当する現場の介護スタッフが「自分も感染するかもしれない」と経験したことのない不安の中で懸命にご利用者支援に当たってくれたことが一番大きかったと思います。



多数のご家族様からも「包み隠さず公表し、日々の対策や状況報告をしてくれたことに感謝しています。負けないで頑張ってください」と励

ましの言葉を頂き、大きな心の支えになりました。

今回のコロナウイルス感染症の対応をきっかけに得るものもたくさんありました。困難に迎え撃つ職員同士の結束力。そして職員とご家族様の理解があつてこそ。改めて家族の存在の大きさに気づくこともできました。今後も短期決戦ではなく、長期戦が予測される対コロナですが、「ウィズコロナ」と言われるように、今だからこそできることを皆で知恵を出し合って進んでいきたいと思えます。

「元気に営業」

在宅支援課係長
小泉 洋平

桜の郷元気デイサービスも新体制となつて三カ月に入りました。私自身、周りの仲間に助けられながら奮闘しております。デイサービスの環境にも慣れ毎日楽しく過ごしています。

少しだけデイサービスの紹介をさせて頂きます。コロナ禍ではありませんが安心して利用して頂けることを常に考えレクリエーションも適切な距離を保ちながら映画観賞会を実施



したり個別のキットを用意して手指を動かすリハビリを兼ねたレクリエーションも行っております。また、朝送迎の際まだまだ冷え込みます。乗車時に湯たんぽを準備し寒さ対策にも力を入れております。

デイサービス 桜の郷元気 ひたちの長岡

定員30名になりました

管理者 木下 成 哲

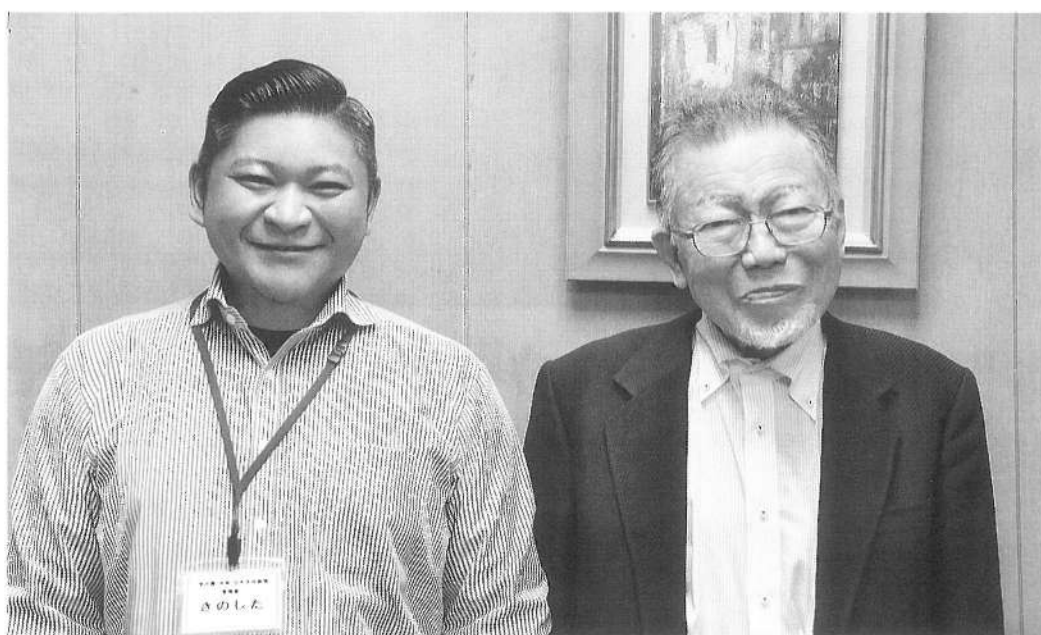
ひたちの長岡も開設から二年半が過ぎようとしています。

菊地 丈夫理事長より「ひたちの長岡は地域に貢献するための施設であり、地域の礎となれるように。」との命を受けて、早二年半職員全員で進んできました。デイサービスも定員三十名に増員する事が出来ました。

年間でも延約六千名のご利用者に来園頂き、ショートステイを合わせると年間約一万二千名のご利用を頂けるようになりました。本当にありがとうございます。

少しでも地域の皆様のお力になっていければ、幸いです。

写真は、菊地理事長と一緒に撮ったものを掲載しました。



私、木下も、法人本部のある石岡市（旧八郷町）から特養桜の郷元気開設の為に、永山施設長と共に異動になり、茨城町に来て十八年になります。いまでは、地元より、茨城町の方が詳しくなっています。これも地域の皆様のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症予防対策の中での運営になりますが、これからも地域の皆様のご協力のもと、ご利用される皆様を楽しみながら過ごしていただけるように運営してまいります。

これからも元気にひたちの長岡を運営していきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



気持ち新たに



特別養護老人ホームやさと
施設長
高城 裕

があることに感謝しています。そして、子育て支援休暇や子の看護休暇など、特別有給休暇制度が充実している法人であることを誇りに思います。次女は、四月から小学生となりますが、まだまだ手がかかりそうです。仕事と生活が、しっかりと両立できるようにこれまで以上に頑張っていきたいと思います。

私事ではありますが、三月に次女が幼稚園を卒園しました。長女から六年間もお世話になった場所です。朝晩の送り迎えも千回を超えていました。実は、四十年前に私も通っていた幼稚園で、アルバムを見返しながら、当時の思い出を二人の娘と一緒に振り返りました。園舎は建て替えられましたが、園庭や行事はあまり変わらない感じを受けました。娘達が一番驚いたのが、私の当時の容姿よりも今なお働いている先生が、そこに映っていたことです。親子でお世話になった先生がいる。何か縁を感じます。私達の業界も親がお世話になり、自分もお世話になり、そこに二世代でお世話になった職員さんがいる。そういった時代になれば、さらに幸せを感じられると思います。

二月は、新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、幼児や学校等での感染、そして高齢者福祉施設でのクラスター報告を聞き、気が抜けない日々が続きました。特に、家庭内感染の増加により濃厚接触者になった報告も増えました。感染防止への対策を講じながら運営してきましたが、大変な状況が長く続きました。

木々の芽は、厳しい寒さを乗り越え、暖かい春を迎えようとしています。新たな感染対策により、窮屈な生活が続くかもしれませんが、感染対策を徹底し、今まで以上に、ご利用者様や職員の健康管理に努めて参ります。今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

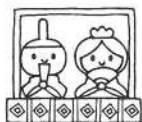
この六年間、施設長という立場で子育てに専念できたのも理解ある仲間がいる職場



こぎつねの郷より



正解はすてきな雑飾りでした



何をつくっているのでしょうか？



おにさん完成！



お誕生日おめでとう



おにさん作成中・・・

特養やさと



鬼さんとの記念撮影



令和4年新年会



美味しいちらし寿司はつくれるかな??



福袋が当たりました!

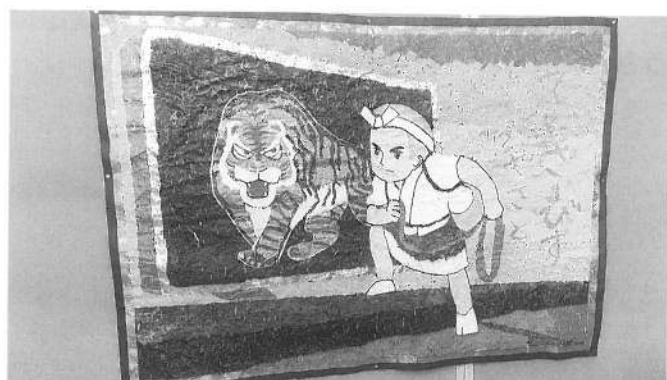
デイサービスやさと



お薬教室開催



みんなで初詣

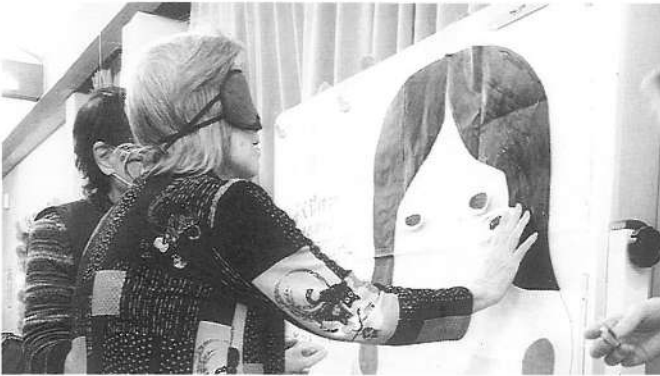


玄関に飾ってあります



昔を思い出します(岡野ファーム)

グループホームさわらび



目はどこかな？



お誕生日おめでとうございます



疫病退散！



良い年になりますように

国府あおい



上手にできました



鈴ノ宮稲荷神社へ初詣



みんなで鬼退治！



令和3年度やさとEPA介護福祉士候補者紹介



特別養護老人ホームやさと
エモン



特別養護老人ホームやさと
カイ



特別養護老人ホームやさと
ブライアン



特別養護老人ホームやさと
マー ト



特別養護老人ホームやさと
ミミエ



特別養護老人ホームやさと
ムジブ



特別養護老人ホームやさと
ディラ



デイサービスやさと
ノヴァン



デイサービスやさと
ジェーネット



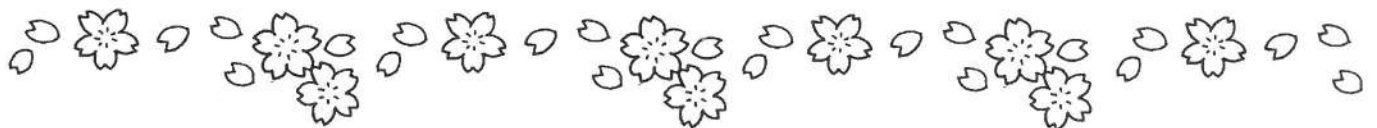
グループホームさわらび
エルニン



グループホームさわらび
グロリア



グループホームさわらび
ジャマル



ワクチン接種について

施設内感染症対策では、ご家族様にもご理解・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの変異株オミクロン株による感染者が猛威を振るう中、泰仁会やさとは、一月三十一日より入居者、職員ともに三回目のワクチン接種を行いました。

新型コロナウイルスについてはまだまだ予断を許さない状況ではありますが、職員自身が媒介者にならないように日々感染予防行動の徹底に努めると共に、ご利用者様の健康観察を行って参ります。

編集後記

まもなく令和四年度が始まりますね。新年度の準備や昨年度の振り返り等でお忙しくされている方もたくさんいらっしゃると思います。

これからどんどんと暖かくなり、外へ行く機会が増えてくると思います。

やさとでは広報紙だけでなく常にブログにて施設の行事や取り組みを発信していきますので、ぜひご覧になってください。